

適切な水管理と生育診断によりの確な穂肥を実施！

○生育診断に基づく穂肥施用

・・・必ず幼穂長や葉色等の生育診断を行い、穂肥を適期に適量施用する

1. 6月10日現在の稲姿

- 草丈は品種により短い～長い、茎数は少ない～多い、葉数は遅い～並みとなっています。
- 出穂期は、平年並～やや早くなる見込みです。

【6月10日現在の生育概況：平坦地管内】 ※（ ）内は、測定値：指標値との比較

品 種	調査地(田植日)	草丈	茎数	葉数
こしいぶき (6/9 調査)	板倉区山部 (5月6日)	長い (33.1cm:118%)	多い (282.7本/㎡:128%)	並 (6.6葉:-0.4葉)
コシヒカリ (6/9 調査)	板倉区山部 (5月19日)	短い (26cm:87%)	少ない (134本/㎡:57%)	並 (6.5葉:-0.5葉)

【6月10日現在の生育概況：中山間地管内】 ※（ ）内は、測定値：指標値との比較

品 種	調査地(田植日)	草丈	茎数	葉数
つきあかり (6/9 調査)	妙高市杉野沢 (5月18日)	並 (28.2cm:100%)	少ない (87.7本/㎡:58%)	並 (5.8葉:-0.4葉)
コシヒカリ (6/9 調査)	妙高市平成 (関山RC近く) (5月17日)	短い (25.8cm:86%)	少ない (128.5本/㎡:50%)	遅い (5.4葉:-2.3葉)



■お問い合わせ先 農業対策課
(TEL：025-527-2050)

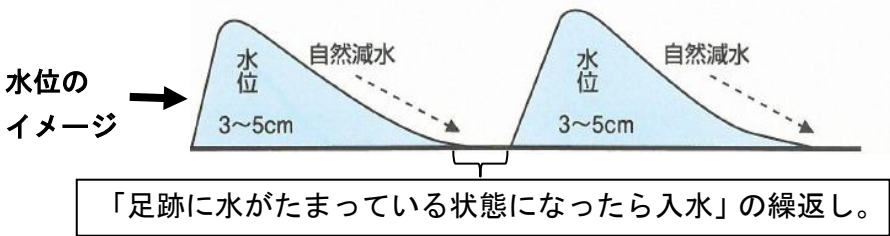


@618zoxpw

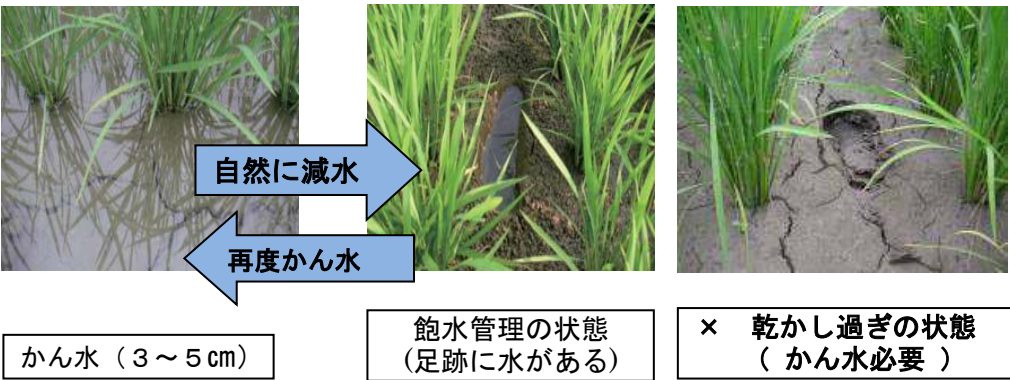
2. 中干し後の水管理

- (1) 出穂1か月前には中干しを終了する。
- (2) その後は、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理
(田面や足跡や溝に水が溜まっている状態)へ移行する。

飽水管理のイメージ



【飽水管理の方法】



3. 品種別出穂予想と穂肥時期のめやす(6月10日現在の予想日)

的確な穂肥診断で、1回目：適正粒数への誘導・2回目：後期栄養の維持に意識して高品質米を作ろう！
◎平坦地(稚苗5月10～15日頃、中苗5月15～20日頃に移植した場合を想定。今後の天候で前後する場合があります。)

品 種	出穂予想日	1回目穂肥		2回目穂肥		2回合計窒素量 (kg/10a)
		時期	出穂前日数	時期	出穂前日数	
つきあかり	7月22日頃	6/23～6/28頃	30～25	7/9頃	14	3～3.5
こしいぶき	7月29日頃	7/6頃	23	7/15頃	14	3
こがねもち	8月2日頃	7/15～7/18頃	18～15	7/23頃	10	1～3
コシヒカリ	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	2.5～3
にじのきらめき	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	2.5～3
新之助	8月9日頃	7/19～7/22頃	21～18	7/30頃	10	2
みずほの輝き	8月15日頃	7/21頃	25	8/1頃	14	3

◎中山間地(稚苗5月15～21日頃、中苗5月20～28日頃に移植した場合を想定。今後の天候で前後する場合があります。)

品 種	出穂予想日	1回目穂肥		2回目穂肥		2回合計窒素量 (kg/10a)
		時期	出穂前日数	時期	出穂前日数	
つきあかり	7月26日頃	6/26～7/1頃	30～25	7/12頃	14	3～3.5
こしいぶき	7月31日頃	7/8頃	23	7/17頃	14	3
こがねもち	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	1～3
コシヒカリ	8月8日頃	7/21～7/24頃	18～15	7/29頃	10	2.5～3
にじのきらめき	8月8日頃	7/21～7/24頃	18～15	7/29頃	10	2.5～3
新之助	8月9日頃	7/19～7/22頃	21～18	7/30頃	10	2
みずほの輝き	8月18日頃	7/24頃	25	8/4頃	14	3

- (1) 1回目の穂肥時期を、ほ場の出穂期の記録(これまでの栽培履歴)や表の出穂期前日数を参考に、あらかじめ予測し計画しておく。
- (2) 穂肥は浅水状態で施用し、出穂期後25日以上は飽水管理とする。
- (3) コシヒカリで全量基肥施肥(一発肥料)でも、出穂期までのSPAD値が32～33を下回ると予想される場合は、追肥を検討する。

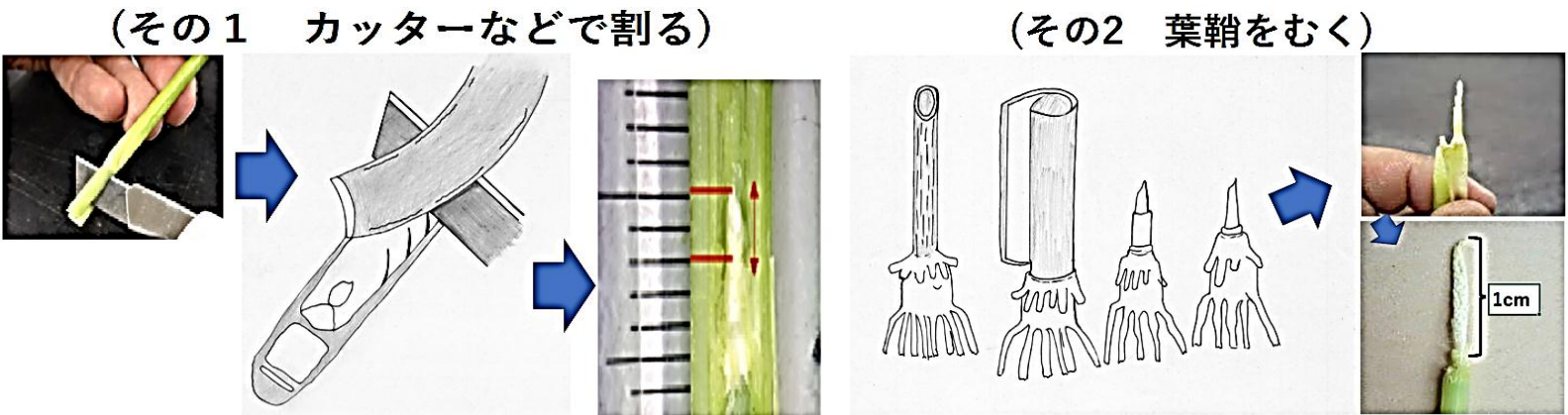
裏面へ

4. 穂肥診断のポイント ～ほ場ごとに自己診断しよう！～

○穂肥は、下記の手法で必ず稲の生育診断を行うとともに、天候や病害虫の発生状況及び地力等を総合的に判断して決めましょう。
○穂肥施用時は浅めに湛水し、その後は飽水管理を継続しましょう。

(1) 穂肥診断の手順 ～幼穂長で施用日を決め、草丈と葉色で施用量を判断する～

① 幼穂長を測り出穂前日数を判断する。



【幼穂長と出穂前日数のめやす】

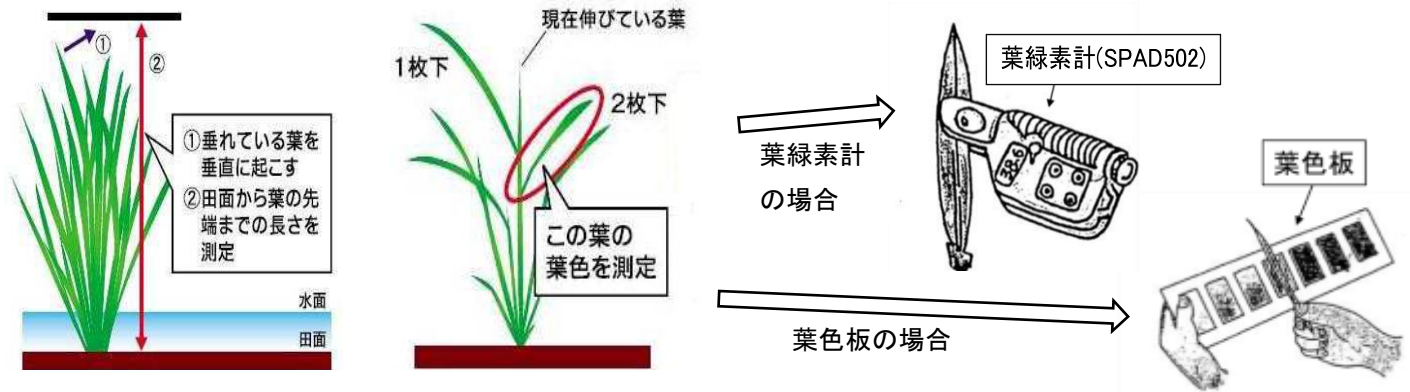
幼穂長(cm)	出穂前日数
0.02	30 日
0.1	24 日
0.2	20 日
0.5～1.0	18 日
4.0～6.0	12 日
10.0～12.0	10 日

【葉緑素計と葉色板の読替表(コシヒカリ)】

葉緑素計 (SPAD502)の数値	葉色板(単葉)の数値	
	出穂 24～21 日前頃	出穂 14～12 日前頃
28	3.2	3.6
30	3.6	3.9
32	3.9	4.2
34	4.2	4.5
36	4.6	4.8
38	4.9	5.1

② 草丈を測る。

③ 葉色(単葉)を測る。



◎ 草丈・葉色調査は、水口や畦畔ぎわを除き、ほ場内の生育中庸株5株程度の平均とする。

(2) コシヒカリの穂肥診断 ～上記の調査結果を基に、穂肥時期及び量を判断する～

【1回目の穂肥:幼穂形成期(出穂 24 日前頃)の生育による診断】

草丈 \ 葉色(単葉)	SPAD 値 34～32 葉色板 4.2～3.9	SPAD 値 35 以上 葉色板 4.4 以上
70～75cm 以内	時期・量とも基準どおり施用 ■出穂 18 日前:1.3kg/10a	時期を遅らせて施用 ■出穂 15 日前:1.0kg/10a
75～80cm 以内	施用量を減らす ■出穂 18 日前:0.5～0.8kg/10a	時期を遅らせ、施用量を減らす ■出穂 15 日前:0.5～0.8kg/10a
80cm 以上	施用できない	施用できない

【2回目の穂肥:出穂 12 日前頃の葉色による診断】

出穂 14～12 日前の 葉色(単葉) ↓	出穂 10 日前の 穂肥量(10a 当たり)
SPAD 値 34～32 葉色板 4.5～4.2	基準量どおり施用 1.0～1.5kg
SPAD 値 35 以上 葉色板 4.6 以上	施用量を減らす 0.7～1.0kg 未満

※2回目穂肥は、後期栄養維持のため確実に施用する。

(3) こしいぶきの穂肥診断 ～1 回目の穂肥は、草丈・葉色から判断し、2 回目の穂肥は確実に施用～

【1回目の穂肥:幼穂形成期(出穂 24 日前頃)の生育による診断】

草丈 \ 葉色(単葉)	SPAD 値 34～32 葉色板 4.2～3.9	SPAD 値 35 以上 葉色板 4.4 以上
60cm 未満	時期・量とも基準量どおり施用 ■出穂 23 日前:1.5kg/10a	時期を遅らせて施用する ■出穂 20～18 日前:1.0kg/10a
60cm 以上	施用量を減らす ■出穂 23 日前:0.8kg/10a 程度	時期を遅らせ、施用量を減らす ■出穂 20～18 日前:0.8～1.0kg/10a

【2回目の穂肥】

基本的に施用する。
■ 時 期 : 出穂 14 日前 ■ 施用量 : 1.0kg/10a ※ 低地力地域や後期栄養の不足が懸念される場合は、1.5kg/10a

※高温が予想される等の状況により、出穂期追肥を実施する。0.5～1.0kg/10a 程度

◎気象変動に対応した稲づくりの提案

- ・高温時対策として、平坦地では確実な中干し溝切の実施による緊急湛水の対策と、稲体維持のための出穂直前穂肥施用を検討しましょう。
- ・中山間地等高標高地域では、早期有効茎数の確保に努めましょう。
- ・出穂 35～45 日前のケイ酸質資材の施用により、稲体の健全化と高温時の耐性強化、低日照時の耐病性強化に努めましょう。

適切な水管理と生育診断によりの確な穂肥を実施！

○生育診断に基づく穂肥施用
・・・必ず幼穂長や葉色等の生育診断を行い、穂肥を適期に適量施用する

1. 6月10日現在の稲姿

- 草丈は品種により短い～長い、茎数は少ない～多い、葉数は遅い～並みとなっています。
- 出穂期は、平年並～やや早くなる見込みです。

【6月10日現在の生育概況：平坦地管内】※()内は、測定値：指標値との比較

品 種	調査地(田植日)	草丈	茎数	葉数
こしいぶき (6/9 調査)	板倉区山部 (5月6日)	長い (33.1cm:118%)	多い (282.7本/㎡:128%)	並 (6.6葉:-0.4葉)
コシヒカリ (6/9 調査)	板倉区山部 (5月19日)	短い (26cm:87%)	少ない (134本/㎡:57%)	並 (6.5葉:-0.5葉)

【6月10日現在の生育概況：中山間地管内】※()内は、測定値：指標値との比較

品 種	調査地(田植日)	草丈	茎数	葉数
つきあかり (6/9 調査)	妙高市杉野沢 (5月18日)	並 (28.2cm:100%)	少ない (87.7本/㎡:58%)	並 (5.8葉:-0.4葉)
コシヒカリ (6/9 調査)	妙高市平成 (関山RC近く) (5月17日)	短い (25.8cm:86%)	少ない (128.5本/㎡:50%)	遅い (5.4葉:-2.3葉)

LINE 営農情報LINE公式アカウント
友だち募集中！

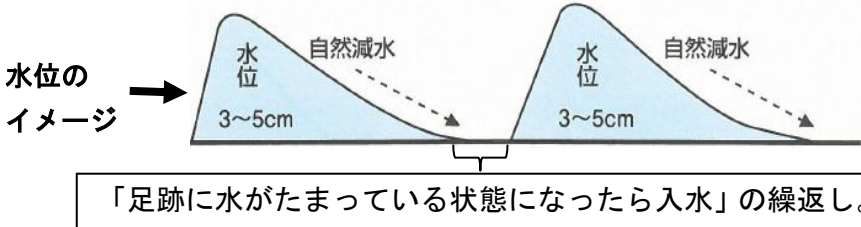
■お問い合わせ先 農業対策課
(TEL:025-527-2050)


@618zoxpw

2. 中干し後の水管理

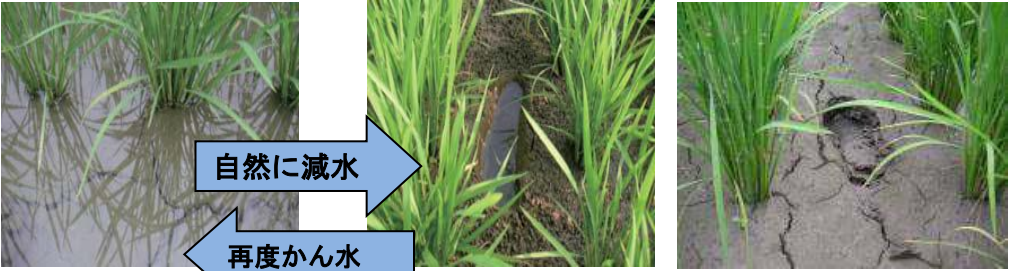
- (1) 出穂1か月前には中干しを終了する。
- (2) その後は、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理(田面や足跡や溝に水が溜まっている状態)へ移行する。

飽水管理のイメージ



「足跡に水がたまっている状態になったら入水」の繰り返し。

【飽水管理の方法】



自然に減水
再度かん水

かん水(3~5cm)

飽水管理の状態
(足跡に水がある)

× 乾かし過ぎの状態
(かん水必要)

3. 品種別出穂予想と穂肥時期のめやす(6月10日現在の予想日)

的確な穂肥診断で、1回目：適正粒数への誘導・2回目：後期栄養の維持に意識して高品質米を作ろう！
◎平坦地(稚苗5月10～15日頃、中苗5月15～20日頃に移植した場合を想定。今後の天候で前後する場合があります。)

品 種	出穂予想日	1回目穂肥		2回目穂肥		2回合計窒素量 (kg/10a)
		時期	出穂前日数	時期	出穂前日数	
つきあかり	7月22日頃	6/23～6/28頃	30～25	7/9頃	14	3～3.5
こしいぶき	7月29日頃	7/6頃	23	7/15頃	14	3
こがねもち	8月2日頃	7/15～7/18頃	18～15	7/23頃	10	1～3
コシヒカリ	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	2.5～3
にじのきらめき	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	2.5～3
新之助	8月9日頃	7/19～7/22頃	21～18	7/30頃	10	2
みずほの輝き	8月15日頃	7/21頃	25	8/1頃	14	3

◎中山間地(稚苗5月15～21日頃、中苗5月20～28日頃に移植した場合を想定。今後の天候で前後する場合があります。)

品 種	出穂予想日	1回目穂肥		2回目穂肥		2回合計窒素量 (kg/10a)
		時期	出穂前日数	時期	出穂前日数	
つきあかり	7月26日頃	6/26～7/1頃	30～25	7/12頃	14	3～3.5
こしいぶき	7月31日頃	7/8頃	23	7/17頃	14	3
こがねもち	8月4日頃	7/17～7/20頃	18～15	7/25頃	10	1～3
コシヒカリ	8月8日頃	7/21～7/24頃	18～15	7/29頃	10	2.5～3
にじのきらめき	8月8日頃	7/21～7/24頃	18～15	7/29頃	10	2.5～3
新之助	8月9日頃	7/19～7/22頃	21～18	7/30頃	10	2
みずほの輝き	8月18日頃	7/24頃	25	8/4頃	14	3

- (1) 1回目の穂肥時期を、ほ場の出穂期の記録(これまでの栽培履歴)や表の出穂期前日数を参考に、あらかじめ予測し計画しておく。
- (2) 穂肥は浅水状態で施用し、出穂期後25日以上は飽水管理とする。
- (3) コシヒカリで全量基肥施肥(一発肥料)でも、出穂期までのSPAD値が32～33を下回ると予想される場合は、追肥を検討する。

裏面へ

水稲穂肥現地指導会の開催について

～反収 15 kgアップをめざして！！～

求められるえちご上越米を生産するためには、適期適量の穂肥が重要な作業となります。

特に近年は異常高温が常態化しており今年も注意が必要です。猛暑時には分施・一発元肥体系ともに生育状況に合わせた追肥診断が品質・収量の確保に大きく影響します。

今回、指導会の内容を見直し、ほ場にて穂肥を始めとする今後の管理の重要ポイントをお伝えする指導会を下記の日程で開催いたします。適切な穂肥施用により、収量・品質の最大化を目指しましょう。是非とも参加をお願いします。

各地区開催日時（営農生産ガイド2025・予約申込書をご持参ください。）

※地区別に会場を設定していますが、都合の良い会場へお越し下さい。

開催日	地区	開催時間	会 場
7月4日(金)	新井	9：00～	下十日市公民館前
		9：00～	大崎町会館前
		10：30～	美守公民館前
		10：30～	国賀集落開発センター前
		13：30～	小出雲会館前
		13：30～	広島地区コミュニティセンター前
		15：00～	西長森集落開発センター前
		15：00～	青田公民館前
	板倉	13：30～	頸南育苗センター
		18：00～	頸南育苗センター
7月7日(月)	新井	9：00～	中宿集会所前
		9：00～	北条カントリー前
		10：30～	上新保コミュニティセンター前
		10：30～	久保田集会所前

開催日	地区	開催時間	会 場
7月10日(木)	泉	13：30～	泉支店
7月11日(金)	新井	10：00～	西野谷会館前
		13：30～	三本木会館前
		15：00～	窪松原生活改善センター前
	関山	10：00～	原通ライスセンター前
		中郷	13：30～
	15：00～		片貝橋農道
7月17日(木)	中郷	10：00～	福崎バス停裏農道
		13：30～	福田・岡沢神社前
	高原	10：00～	二俣 東前原入口
7月18日(金)	高原	10：00～	杉野沢 中村耕地 生育調査圃
	関山	13：30～	大鹿克雪センター前
		15：00～	関山ライスセンター前

指導会で一緒に穂肥
診断をしてみよう！



指導会には、
「JA えちご上越営農生産ガイド2025」
「高品質米生産 コシヒカリスケール」※
をご持参下さい。
※は、頸南資材店舗にて販売しております。

